

70年斗争を踏えて藤沢の学友に訴える!!

六〇〇日に及び日大解放斗争を斗い抜き
今日70年安保斗争を踏え、再びの斗いを組
まんとしている多くの学友諸君、現在我
々の斗いは、大学当局の弾圧、古田体制
化の中にあつて後退を余儀なくされていま。
我々、更に多くの経験をつんだ仲間が、
六〇〇日に渡る斗争を通じる中で、今日帝
国主義者に対する斗いの責を引き継いだ結
果、その引き出された敵が采りにも強大で
あった為に（我々は主観的にそうとらえた
一部の同志は斗争より去って行こうとした
し又、全体的に悲憤感^{に覆られた}が、
確かに彼等は今日の我々にとって強大な敵
である。然し我々は 斗争を遂げる中でつか
んで来た古田なんてたいした奴じゃない、
という確信と、斗いに勝つという信念と
奴等を追い込む団結と、奴等に打ち向かう
勇気をもって徹底した日常原則運動と本統
斗争によつて、帝国主義者に対し我々が
部内・部内の斗いを果敢に展開し、全局の
斗いを推し進め大学を全ての仲間へ解放し
全ての仲間の為の研究・学習をなす場所を
保障し築き上げる作業を遂及するならば我
々は必ず奴等を追撃するであらう。

以上の命題を把握し、現実を直視するな
らば我々藤沢の学生は何を考へ如何に行動
に移すかは容易であらう。

69年6・9月に於ける集会は僕達二年生
にとって何を意味し、何を向いかけたのが
現在、古田を中心として日大アウシエビツ
ツ体制を築いて僕達を弾圧している。
日大当局者は帝国民主化をしたといつてい
な、手紙の何故僕達が、校舎があるにも
か、わらう森の地に於いてこの様なアシ
ハブ^{（？）}教育を受けねばならないのか、校
舎の廻りを不細工な鉄条網で囲み、学内に
は監守の如く取員が鼻張り、各クラスに御
用学生を配置し一般学生を弾圧している。
更に又コンパ等の時に大番振舞いをして一般
学友に対して押しつけ的の義理人情をうり
つけ事ある時に利用しようとしている学生
が一部にいる。しかし学友諸君、甘んじられ
てはいけぬ。その時暗示的に三十余億円
使源不明金の事を思い起こす^{（？）}ある。
学友諸君、更に深く事に教授までが公正中
立である筈の講義中に於いて、学生に後回
軍団精神を注入し、日大斗争の中で常に犯
罪的役割をなした指環、一部体育会、関東
軍等を養育し、真の学生の仲間であり、正
義の斗争を推し進めて来た多くの仲間に対
し誹謗と中傷とを行なっている。又その中
のS教授（日大斗争の中で一連して我々学
生の仲間を流調する詭弁をもって多々し続
けている）等をもって、自若風デツチ上げ